

モニタリング結果報告書 (平成28年度)

1. 施設概要

施設名	茅ヶ崎里山公園		
所在地	茅ヶ崎市芹沢		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/satoyama/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成13年10月)		
指定管理者名	公益財団法人 神奈川県公園協会		
指定期間	H27. 4. 1～H32. 3. 31	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p><評価の理由> 利用状況がA、収支状況および利用者の満足度がSとなったことからS評価となった。</p> <p><今後の課題・対応等> 安全管理に引き続き留意しながら、公平な利用指導を継続するとともに本公園の特性を活かした利用拡大に努めてもらいたい。</p> <p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づいて、地域団体や学校等と連携した農体験活動、ボランティアと協働した里山保全活動、里山資源循環(バイオマス利用等)の取組や地元食材を活用した飲食サービスの提供など公園の魅力伝える様々なプログラムを実施し、優れた実績をあげた。自治会、消防署、自衛隊等と合同防災避難訓練を実施するとともに、樹木診断を行い危険な枝下しを行うなど安全確保に努めた。</p> <p>◆利用状況 里山学校の取組を開始するなど事業計画に沿った取組を進めた結果、利用者数が目標対比増減率で約8%のプラスとなったためA評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が約97%となったためS評価となった。</p> <p>◆収支状況 駐車場収入等は振るわなかったが、植物管理の発注方法等を見直し、収支差額は約6%のプラスとなったためS評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 利用者マナーに起因する苦情等が多かったが、誠実に対応した。</p> <p>◆事故・不祥事 段差に躓いて利用者が捻挫した事故についてはスピーディーかつ的確に対応した。職員が剪定中に転倒し、ほぼ骨を骨折した事故については事故発生現場で再発防止対策会議を実施するとともに、専門家を呼んで安全講習会を開催し、再発防止に努めた。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p>	
3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
S	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月1回程度	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
■里地・里山の自然を活かし楽しむ環境づくり ○地域団体や学校等と連携した農体験活動 ○ボランティアと協働した里山保全活動、里山資源循環の取組	・地域団体や学校等と連携した農体験活動や里山保全活動を実施 ・ボランティアと協働した里山保全活動、里山資源循環(バイオマス利用等)の取組を実施	
■楽しく快適な公園利用 ○公園の魅力を伝えるプログラム提供 ○地元食材を活用した飲食サービスの提供 ○来園者が安全快適に利用できる施設の維持管理	・里山学校の取組を開始 ・公園の魅力を伝える様々なプログラムを実施 ・地元食材を活用した飲食サービスの提供を実施 ・来園者が安全快適に利用できる施設の維持管理を実施 ・樹木診断を実施し、倒木等の恐れのある樹木の枝落とし等を実施	
■健康的な暮らしの支援 ○ボランティアと協働による農体験での健康づくり ○県民協働によるエコ的食のイベント等の取組 ○近隣大学等と協働による周辺地域も含めたエコツーリズムの取組	・ボランティアと協働し農体験を通じた健康づくりの取組を実施 ・県民協働によるエコ的食のイベント等の取組を実施 ・近隣大学等と協働による周辺地域も含めたエコツーリズム等の取組を実施	
■防災機能の確保 ○災害時対応体制の整備 ○地元と協力した防災の取組	・災害時に対応できるよう訓練を実施するとともに備蓄用品の確保等を実施 ・自治会連合会と合同で来園者、消防署、自衛隊、県等と協同で合同防災避難訓練を実施	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
バーベキュー場の運営	おこじゅう広場のバーベキュー場の運営を行った。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	前々年度	前年度	平成28年度
利用者数※	529,360	559,222	567,463
対前年度比		105.6%	101.5%
目標値	378,000	526,000	526,000
目標達成率	140.0%	106.3%	107.9%

目標値の設定根拠： 前年度、前々年度：平成18～20年度実績平均の95%
平成28年度：提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数及び団体申込数等から推計

[参考：最大利用可能人数/年]

					合計
定員					
年間利用可能日数					
最大人数※	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日3回、平日2回の計5回調査	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか？
 実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 130 / 130 = 100.0%
 配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	80	46	1	3	0	130	小さい子が安心して遊べる
回答率	61.5%	35.4%	0.8%	2.3%			
前年度の回答数	143	17	2	1	0	163	
前年度回答率	87.7%	10.4%	1.2%	0.6%			
回答率の対前年度比	70.1%	339.3%	62.7%	376.2%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 公園スタッフの対応はいかがでしたか？
 実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 74 / 74 = 100.0%
 配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	60	12	1	1	0	74	説明の仕方がていねい
回答率	81.1%	16.2%	1.4%	1.4%			
前年度の回答数	89	6	43	3	0	141	
前年度回答率	63.1%	4.3%	30.5%	2.1%			
回答率の対前年度比	128.5%	381.1%	4.4%	63.5%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

--

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	143,312				143,312	143,312	0	100.00%
	決算	143,312				143,312	139,193	4,119	102.96%
前年度	当初予算	113,600		16,105	駐車場11,828 自販機4,277	129,705	129,705	0	100.00%
	決算	113,600		14,886	駐車場11,256 自販機3,630	128,486	126,015	2,471	101.96%
28年度	当初予算	113,600		16,212	駐車場11,828 自販機4,384	129,812	129,812	0	100.00%
	決算	113,600		14,859	駐車場11,019 自販機3,840	128,459	121,041	7,418	106.13%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 (単位:千円)
28年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
H28.4～H29.3	6,305	井戸ポンプ交換(1,458),給水エント交換(1,317),エアコン修繕(464),立入防止柵修繕(982)等 ※上記の他に土嚢設置・階段改修工事を実施

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 300千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	メール 1 件	・車の扉を全開すると駐車場の植栽柵にぶつかるので改善してはどうか	→県土木と現地確認を行い、県土木が改修を行った
	件		
職員対応	件	なし	
事業内容	メール 2 件	・(犬連れのBBQ利用者に外側のテーブルを薦めたところ)規則があるならHPで事前に周知してほしい ・市等主催の大型イベントで駐車場内が渋滞し出庫できずバスで帰宅したので改善してほしい。	→気分を害されたことをお詫びし、HPに掲載した →お詫びし、イベント主催者等と検討していくこととした
	件		
その他	来園 1 件	・園内の樹木にロープを張るスリッパをやって利用者に危ないから止めてほしいと利用指導するも全く聞かず、クレームを言ってきた	
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	発生時の詳細な状況
	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
4月18日	①来園者が芹沢池東側の階段（※市道に階段を占用）の塩ビマンホール蓋に蹴躓いて靭帯損傷を負った。 ②4月18日に電話、メールで連絡を受け、その後の状況と対応方法について指定管理者と緊密に情報共有を図った。 ③1週間程度の安静が必要との診断。被害者にお詫びし、適宜保険の対応状況を説明。応急措置を取るとともに階段の嵩上げを実施。（4月18日マンホール蓋周りの摺り付け、4月20日木製階段の嵩上げを実施。4月21日指定管理者が被害者と面会し、お見舞い等について説明、4月26日指定管理者が被害者宅を訪問し、示談が成立。） ④ ⑤マンホール蓋周りの土流出により生じた段差。治療費として約2万円を指定管理者が負担 ⑥
10月26日	①幼児数人が景石で遊んでいたところ、滑り降りようとした2歳の女兒を5歳の女兒が抱きかかえ、そのまま転倒し、2歳の女兒が額に裂傷を負った。 ②10/16メール、電話で状況等を確認。 ③ ④ ⑤ ⑥
2月7日	①協会職員が脚立に乗って下枝を剪定中に転倒し、ほぼ骨を骨折した。 ②2/7メール、電話で状況等を確認。 ③事故発生現場で再発防止対策会議を実施するとともに、専門家を呼んで安全講習会を開催した。 ④ ⑤ ⑥
2月18日	①ふわふわドームで小学6年生男児と女兒複数名が遊んでいたところ、2人の男児がもつれて転げ落ち、左足の小指を負傷した。 ②2/20メール、電話で状況等を確認。 ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。